

みずほCustomer Desk Report 2019/09/12号(As of 2019/09/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.66
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.60	1.1049	118.88	1.2356	0.6858
SYD-NY High	107.86	1.1055	119.16	1.2371	0.6885
SYD-NY Low	107.50	1.0985	118.30	1.2313	0.6849
NY 5:00 PM	107.85	1.1011	118.74	1.2328	0.6863
NY DOW	27,137.04	227.61	日本2年債	-0.2800	1.00bp
NASDAQ	8,169.68	85.52	日本10年債	-0.2100	2.00bp
S&P	3,000.93	21.54	米国2年債	1.6752	▲1.20bp
日経平均	21,597.76	205.66	米国5年債	1.5973	▲0.48bp
TOPIX	1,583.66	25.67	米国10年債	1.7446	0.17bp
ソコ日経先物	21,665	210	独10年債	-0.5625	▲1.15bp
ロンドンFT	7,338.03	70.08	英10年債	0.6350	▲0.30bp
DAX	12,359.07	90.36	豪10年債	1.1280	4.10bp
ハンセン指数	27,159.06	475.38	USDJPY 1M Vol	6.23	0.07%
上海総合	3,008.81	▲12.39	USDJPY 3M Vol	6.44	0.16%
NY金	1,503.20	4.00	USDJPY 6M Vol	6.51	▲0.03%
WTI	55.75	▲1.65	USDJPY 1M 25RR	-1.43	Yen Call Over
CRB指数	173.73	▲1.21	EURJPY 3M Vol	7.05	0.11%
ドルインデックス	98.65	0.32	EURJPY 6M Vol	7.25	0.08%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月11日	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.8%	0.0%/1.7%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	7月 0.2%	0.2%

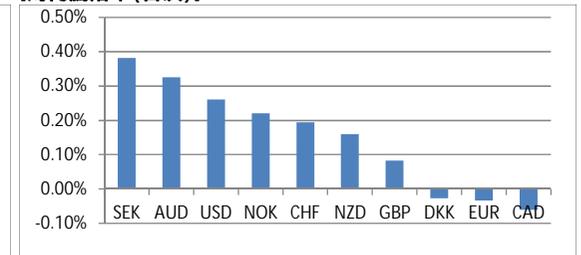
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月12日	08:50	日 機械受注(前月比/前年比)	7月 -8.0%/-3.7%	13.9%/12.5%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)	8月 -0.2%/1.4%	-0.2%/1.4%
	20:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.0%/0.25%/-0.5%	0.0%/0.25%/-0.4%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.8%	0.3%/1.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	217k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.15-108.15	1.0950-1.1100	117.50-119.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は107円台後半で底堅く推移。中国側より米国への報復関税に関して、16品目については適用対象外にするとの発表があったこと等から、米中貿易摩擦の緩和期待を背景にアジア時間からドル買い優勢となる中、海外時間においても米金利上昇なども相俟ってドル高地合いが継続した。本日はECBが予定されている他、来週にはFOMCも控えていることから値幅は出づらい環境と思われるものの、市場のリスクセンチメントは改善基調にあり、ドル円も底堅い展開が予想される。

東京	東京時間のドル円は107.60レベルでオープン。米中通商協議への期待感が継続する中、米金利の上昇や堅調な株式市場を横目にドル円も上昇。中国から米国製品の関税免除に関するリストが公表されたタイミングでは高値107.85をつけ、その後も同水準を推移し、107.82レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.82でオープン。ロンドン時間に特段の材料がでなかったこともあり107.66-83の狭いレンジで推移し107.72でNYに渡った。ユーロは、1.1044でオープン。特段の材料はなかったが、翌日のECB政策決定を控えての動きかユーロは売られ1.10の大口を割り1.0997レベルでNYに渡った。あるドイツ系シンクタンクがドイツの第3四半期GDPがマイナス成長となるリセッション入りの見通しを示したことを材料視した、との話もあった。ポンドドルは、1.2365レベルでオープン。材料難の中1.2333-71のレンジ取引となった。英議会の閉鎖をスコットランドの裁判所が違憲判決した、とのヘッドラインには反応はなく、1.2341レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00-00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、中国が広告製品に対する関税免除リストを発表したことを好感し、ドル買い円売りが強まり、前日の高値107.59を抜け、一時107.85まで上昇し107.72レベルでNYオープン。朝方は米8月PPIが予想を上回ったことから107.81まで戻す。その後は堅調に推移していた株式市場が横ばいまで下げる展開に円買いが強まり、107.63まで下押しする。午後は、米株が上げ幅を拡大する動きを眺め、じりじりと107.86まで上昇。しかし、日米欧の金融政策発表を控え、様子見ムードも強い中、更なる上値追いはせず107.85レベルでクローズ。一方、ECB理事会結果発表を翌日に控え、海外市場でドル買いが優勢となったことからユーロドルは軟調に推移し、1.0997レベルでNYオープン。朝方は米PPI結果を受けたドル買いに、ユーロドルは上値を切り下げ、1.0985まで下落する。正午前になり通信会社大手が「ECBは成長予想を引き下げる」とのヘッドラインが伝わったものの、翌日の理事会で発表されることが予想されていることからユーロドルの反応は限定的だった。売り一巡後、米中貿易摩擦の緩和期待で円売りが先行する中、ユーロ円の上昇にサポートされ1.1010台を回復。終盤は1.1010付近で小動きとなり、結局1.1011レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・玉井